

High School Japan Cup2020
女子サーブル第2位

菅野 鈴^{りん} さん

楽しむ気持ちを忘れずに

悲願の表彰台へ



フェンシング競技全国高校総体（インターハイ）の代替大会「High School Japan Cup2020」が9月25日から27日までの3日間、箱根町の星槎レイクアリーナ箱根で開催され、川俣高校フェンシング部が出場し表彰台に立ちました。

Q フェンシングを始めたきっかけは？

小学生まで剣道を習っていましたが、中学校に剣道部がなく剣道と同じように剣を使うフェンシング部に入ったのがフェンシングを始めたきっかけです。同じ剣を使うスポーツなのに駆け引きの仕方や試合の運び方など全く違うスポーツで驚きました。

Q 大会を終えた感想を教えてください

今回の大会は半年近く試合がない状況で挑む大会だったので、イメージ通り動けるか当日はとても不安でした。

また、今大会では予選全勝という目標を持って集中して試合に臨みました。結果は3位。欲言えども一勝して決勝に進みなかったですが、目標であったベスト4を達成できて良かったです。今大会は通過点であり、これからフェンシングを続けていくうえでの課題や自分の強みを知ることができました。

Q 今後の目標は何ですか？

以前、海外で試合をした時に、海外の選手はリーチも長く、力強い攻めのフェンシングをしていました。実際試合では、その攻めのフェンシングに圧倒され自分のフェンシングをすることができませんでした。そのため進学後は、世界で通用するフェンシングを身に付け、国内外で活躍できるようになりたいです。

また、今大会で結果を残せたのはここまで支えてくれた両親や先生、部員のおかげです。これからはその人たちに恩返しができるように頑張りたいと思います。



準決勝で戦う平山さん

Q フェンシングを始めたきっかけは？

兄姉がやっていたこともあって興味があり、高校では自然とフェンシングを始めました。

Q 大会を終えた感想を教えてください

私が初めて全国大会に出たのは1年生の頃で、団体戦の補欠として参加。2年生ではベスト16位と表彰台には届かず、思うような結果が出せずに悔しかったの覚えています。そのため今年こそは結果を出したいという思いで参加しました。今回の大会は高校生活最後の大会ということもあって、負けたら終わってしまう予選リーグは不安と緊張で張り裂けそうでした。

しかし、予選リーグ突破後、トーナメント戦に入り準決勝、決勝戦になる頃にはフェンシングを始めた頃の「フェンシングが楽しい」という気持ちを思い出しました。そして「ここまで来たからには楽しい気持ちを忘れずに試合しよう」と思い試合に臨みました。決勝で

Q 今後の目標は何ですか？

は負けてしまったけれど、全国大会という大舞台で初めて表彰台に立つことができて、今まで取り組んできたことを結果として出すことができてホッとしました。

高校生活を振り返るとフェンシングをしていたおかげでとても濃い高校生活を過ごせたと思います。フェンシングをする中で継続することの大切さ、そして忍耐力を得ることができました。これから社会人になってからもフェンシングを通して学んだことや得たものを活かしていきたいと思っています。



決勝戦に臨む前の菅野さん

祝 快挙達成！

関わった全ての人に感謝

そして恩返しをしたい

High School Japan Cup2020
男子サーブル第3位

平山 裕汰^{ゆうた}さん